

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	姉妹都市少年スポーツ交流事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課			
施策	3-3	次代を担う青少年を育てる地域環境づくり		主管課長	中西 直人			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	姉妹都市少年スポーツ交流団体	意図	姉妹都市との青少年交流の充実
事業内容	姉妹都市である相馬市との間で、少年スポーツチームでの交流を通じ、両市のより緊密な交流関係を促進することで、参加した青少年の健全育成と、それを支える大人たちについての機運醸成を図るもの			
事業開始から現在までの状況変化	過去、姉妹都市間のより緊密な交流が求められたことに由来する。昭和61年度より市主催事業として実施され、昭和63年度からは両市の各団体ごとに実施することになった。この時から助成事業（補助金交付）としている。 助成開始から現在まで、流山市少年野球連盟、流山市少年サッカー連盟、流山市剣道連盟の3団体を対象に補助金を交付している事業である。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	参加者数	594	637	589	人	↑↑↑	実績値
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 野球、サッカー、剣道を通じての交流を実施している。毎年姉妹都市相互の試合会場で実施していることから、一昨年と比較し現状把握を行う。 平成30年の参加者数は一昨年と比べ若干減少であった。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		655,950	651,360	647,760				
事業費(b)(円)		450,000	450,000	450,000				
うち一般財源		450,000	450,000	450,000				
職員給与費(c)(円)		205,950	201,360	197,760				
人役・職員(人)		0.03	0.03	0.03				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	能登町、信濃町とどのような交流が可能か検討を進める。	③取組における課題(Check)	相馬市との交流のほか、他の姉妹都市との交流が課題である。
②H30に実施した取組(Do)	サッカーは7月に相馬市へ訪問。剣道及び野球は8月に流山市へ来てもらい、交流を深めた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	能登町、信濃町とどのような交流が可能か考えていく。